



A日程：7月27日（火）10:00-16:00  
@長野県自治会館+オンライン

B日程：7月30日（金）10:00-16:00  
@宮田村村民会館+オンライン

酒井保さん(ご近所福祉  
クリエイション)と行く！

# 第1回生活支援コーディネーター のための地域づくり研修

地域の暮らしに根付いた住民参加の場、活躍の場を  
発掘・創出することで、生活支援体制整備事業の  
「支え合える地域づくり」を目指して、生活支援  
コーディネーターの皆さんは日々、住民の皆さんと  
の対話と関係機関の皆さんとの関係づくりに取り組  
んでいます。

この研修では、生活支援コーディネーターの皆さん  
の取組みの意味と、支え合える地域づくりの姿を確  
認し、県内様々な地域づくり・地域福祉活動の取り  
組みを共有しながら住民の皆さんとともに歩む生活  
支援コーディネーターの地域づくり視点を学びます。

プログラム詳細は裏面



申込フォーム



申込締切：7/23（金）

# プログラム・タイムスケジュール

時間	内容
10:00	■開会・事務連絡
10:05	生活支援体制整備事業と生活支援コーディネーターの活動 今さら聞けない生活支援体制整備事業・・・  <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援体制整備事業が何故必要なのか？ →説明の入り口を間違えると地域が炎上する！？ ～2025年問題とフレイルと支え合い～ →「地域包括ケア」と「介護予防事業」と「地域支え合い」をどう束ねるか？ ……地域密着の課題／「施設入居者は地域住民ではない！」という介護観 →「協議体」って何だ？「協議体」が必要な理由とは？……アナタは、説明できますか？ →仕組みを増やす＝支え合いのまちづくり……という理解でいいのか！？ →その「仕組みづくり」が成功しない最大の理由とは？</li> <li>・生活支援コーディネーターに共通する苦悩 →求められる「活動実績」……活動実績とは何か？ →活動実績のつくり方／報告書の書式と書き方 →課題の潰し方……その課題は、課題か？</li> <li>・地域住民と専門職の関係／地域プレゼン(話し方)のコツのコツ →「住民主体」の勘違い……そろそろ「支え合い」を住民に返そう！ →「お金がないと支え合いが出来ない！」という体質 →「課題」は、専門職がつくっている！？ ……その「課題」は、本当に「課題」か？</li> </ul>
12:00	昼食 【12:20～12:50】酒井先生の個別相談コーナー (事前受付※1組15分)
13:00	新型コロナウイルス感染症にまけない 「支え・合い」の創り方  <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援体制整備事業 ……なぜ「仕組みづくり」ではなく「地域づくり」なのか？</li> <li>・数値化されないものの評価／「暮らしぶり」から生み出されるもの</li> <li>・「お宝」とは何か？……「お宝」の間違った理解が「支え合いの崩壊」を招く！？</li> <li>・「意味づけ」による価値評価の手法／お宝の磨き方について</li> <li>・お宝探し研修の効能と地域診断のすすめ……住民力の素晴らしさを知る！</li> </ul>
14:50	信州から発信する地域づくりと支え合い「信州モデル」を創ろう！  <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が村、我が町、我が市の「介護予防手帳」をつくろう！</li> <li>・「長野県型の生活がPPKを実現させる！」という事実を全国に発信しよう！</li> <li>・「少ない」から生まれる自然治癒力……長野の強み……「何も足さない」という取り組みを！</li> <li>・住民のモチベーションと私たちのモチベーション……up!</li> <li>・まとめ</li> <li>・次回研修の流れと学びのポイントについて</li> </ul>
16:00	■閉会 【16:30～17:30】酒井先生の個別相談コーナー(事前受付※1組15分)

## 講師プロフィール

【講師】酒井 保 氏 (ご近所福祉クリエイション主宰)

知的障がい者施設職員、社会福祉協議会職員、認知症グループホーム・小規模多機能施設の施設長職を経て、2014年8月に「ご近所福祉クリエイション」を創設。広島と仙台を拠点として、講演・執筆活動を中心にイラストレーターとしても活躍中

## 詳細のご案内 (HP・お問合せ先)

研修に関する詳細のご案内や参加申込方法・開催要項等の詳細は、長野県社会福祉協議会ホームページ「ふれあいネット信州」をご覧ください。

長野県社会福祉協議会まちづくりボランティアセンター

TEL 026-226-1882 / FAX 026-228-0130 / E-mail vcenter@nsyakyu.or.jp

ホームページ <http://www.nsyakyu.or.jp/>